

新城工場CSRレポート

生産品目: 乗用車用、ライトトラック用タイヤ
敷地面積: 322,000m²
従業員数: 943人(2009年6月現在)
所在地: 〒441-1341 愛知県新城市野田宇古屋敷1番地
 TEL 0536(22)2251



工場長ご挨拶



桜井 光雄

新城工場は本工場と豊川を挟んだ南工場の2つの工場からなり、主に乗用車用高性能ラジアルタイヤの生産を行っています。また「トップレベルの環境貢献企業」を目指す中核工場として、環境貢献商品の上市とタイヤ生産に関わるあらゆる資源のムダ取りおよび省エネ活動を進めています。こうした活動の一つとして、CGS(コージェネレーションシステム)を導入しており、2008年3月に「第7回日本コージェネレーションセンター会長賞」を頂きました。さらに「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトの一環として2009年5月に自前の苗による第1期植樹会を開催し、地域住民の皆さまや行政関係者の方々にも参加して頂き、約1万2千本を植樹しました。2009年度からは、中期経営計画「GD100」のフェーズⅡとして、より一層の省エネや産業廃棄物の削減ならびに完全ゼロエミッションの継続と再資源化率100%の達成に向けた活動を行います。また、滔々たる流れの豊川の自然を愛し、地域社会との共生を図るため、市内清掃活動や地域行事への積極的な参加、「YOKOHAMA千年の杜」活動で培われた育苗技術を活かし、周辺地域や他企業にも自前の

苗を提供するなど、環境首都コンテストで過去3年間1位(第3群)を取得している新城市に根付いた社会貢献にも取り組んでいきます。

2009年度環境方針

新城工場は、「トップレベルの環境貢献企業」を目指す横浜ゴム(株)の中核工場として、その先駆けとなります。

- (1) 心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献し、自らの意志として「環境に貢献する改善」と「環境リスクの予防」を継続的に企画し、実践する。
- (2) 環境経営の持続的向上を実現するため、新城工場を構成するすべての部門・関連企業において、自ら定めた環境マネジメントシステムに従い、手順を確立し、維持向上する。
- (3) 関連する法令および同意した協定・契約などを順守し、環境保全に取り組む。
- (4) エネルギー・原材料・水などの限りある地球資源を守るため、そのムダ使いを防止する行動(MD)を実践し、3R*を推進する。
*Reduce: 発生抑制、Reuse: 再使用、Recycle: 再生使用
- (5) 本方針を具現化するため、環境に影響を与える本来業務を自覚し、環境目的・目標を見える化し、定期的に見直し、計画を作成し実行する。
- (6) 新城工場で働く全ての従業員および構成員が、本方針を理解し行動できるよう教育と啓発を行い周知徹底する。
- (7) 滔々たる豊川の流れと木々の緑に恵まれた自然と、調和・融合し、地域社会形成に貢献し、共生を目指す。
- (8) 本方針は公開する。

主な地域との交流活動

市内清掃活動への参加

新城市主催で2008年6月と10月に行われた市内清掃活動「しんしろクリーンフェスタ」に従業員247名が参加しました。工場周辺道路の清掃も年間8回行い、延べ211名の従業員が参加し、57kgのゴミを回収しました。

交通安全指導

全国交通安全運動期間中、工場正門前で504名の従業員が地域の方々と協力して交通安全指導を行っています。

区長工場見学・懇談会の開催

2008年6月、工場周辺の区長の方々など18名を招いて「工場見学・懇談会」を行いました。

地域祭事への協賛

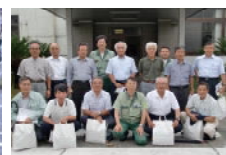
2008年8月の「新城納涼花火大会」、11月の「新城ラリー」、2009年1月の「新城マラソン」などに協賛しました。また、「新城市消防出初式」に自衛消防隊が参加しました。



「しんしろクリーンフェスタ」に参加した従業員



通学中の小学生を安全誘導する従業員



「工場見学・懇談会」参加者との集合写真

環境・社会貢献活動への表彰

「日本コージェネレーションセンター会長賞」を受賞

2009年3月、最も優れたCGS(コージェネレーションシステム)の導入事例に対して贈られる「日本コージェネレーションセンター会長賞」を受賞しました。



受賞記念撮影

油流出訓練

2008年6月に豊川に油が流出した事を想定した訓練を実施し、従業員54名が参加しました。

新城消防署と合同防災訓練

2008年9月に新城消防署と合同で実施し、従業員850名が参加しました。



油流出訓練の様子



放水訓練を行う従業員



「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトとは、横浜ゴムが創業100周年を迎える2017年までに、国内外の全生産拠点に合計約50万本の植樹を行い「杜」を作るプロジェクトです。2007年11月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートしました。

- 2009年5月：第1期植樹会(1,000名参加、12,000本植樹)
- 2010年(予定)：第2期植樹会



環境データ

PRTR対象物質

(単位:トン/年)

政令番号	対象化学物質	取扱量 ^{※1}	排出量 ^{※2}	移動量 ^{※3}	安全性影響度評価 VII-2			
					有害性ランク(人)	年間換算排出量(人)	有害性ランク(生態)	年間換算排出量(生態)
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	570	0	4.1	D	0	A	0
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	200	0	0.69	D	0	A	0
198	ヘキサメチレンテトラミン	49	0	0.26	C	0	D	0
100	コバルト及びその化合物	20	0	0.43	A	0	-	0
310	ホルムアルデヒド*	16	0	0	A	0	C	0
63	キシレン	1	1	0	C	10	A	1000
総合計		856	1	5.48		10		1000

※1:取扱量は1トン以上を記載 ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載
 ※2:排出量=大気+公共用水域+土壌
 ※3:移動量=廃棄物+公共下水道

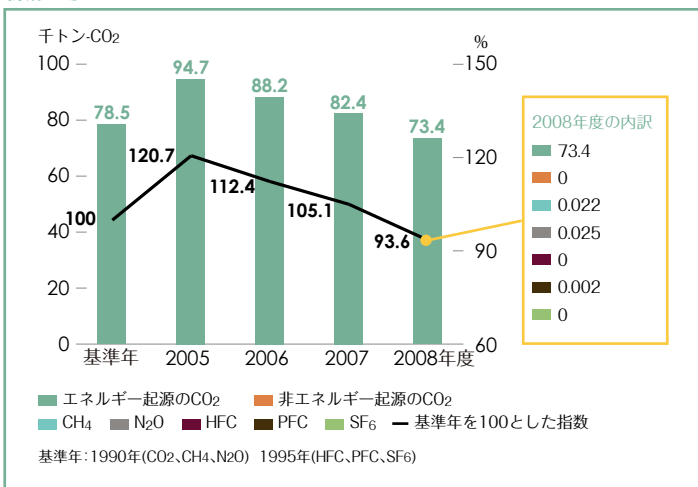
(単位:トン/年)

政令番号	対象化学物質	取扱量 ^{※1}	排出量 ^{※2}	移動量 ^{※3}	安全性影響度評価 VIII-5			
					有害性ランク(人)	年間換算排出量(人)	有害性ランク(生態)	年間換算排出量(生態)
115	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	64	0	0.74	D	0	D	0
282	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	20	0	0.3	A	0	A	0
198	ヘキサメチレンテトラミン	3.1	0	0.057	C	0	D	0
100	コバルト及びその化合物	11	0	0.044	A	0	D	0
総合計		98.1	0	1.14		0		0

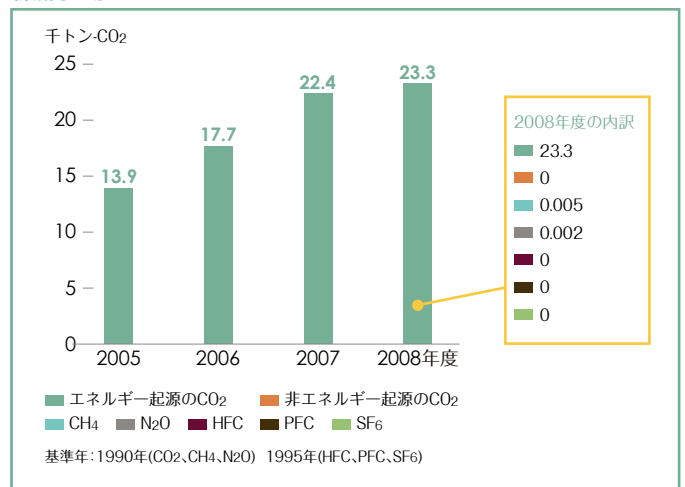
※1:取扱量は1トン以上を記載 ただし、ベンゼン等の特定第1種指定化学物質は0.5トン以上を記載
 ※2:排出量=大気+公共用水域+土壌
 ※3:移動量=廃棄物+公共下水道

温室効果ガス排出量と基準年を100とした指数

新城工場(法律対応に合わせ、事業所単位の開示としてあります)



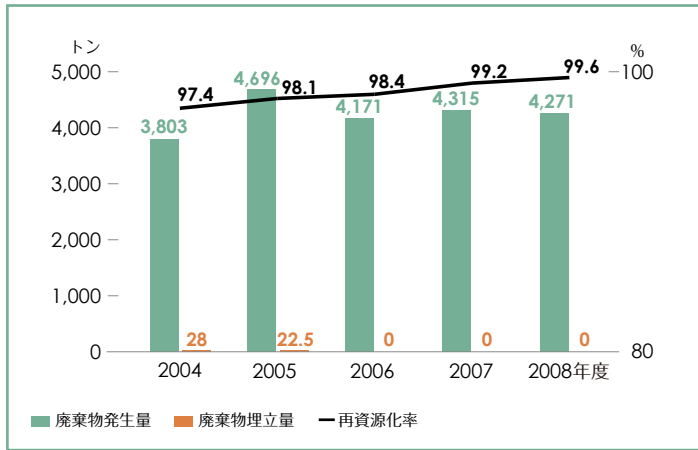
新城南工場(法律対応に合わせ、事業所単位の開示としてあります)



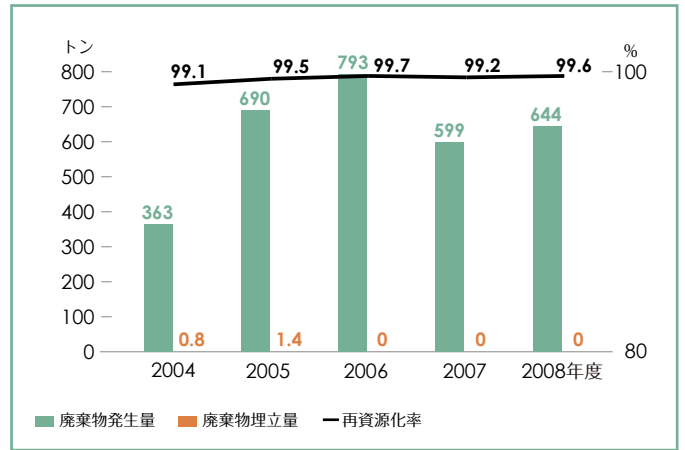
※2005年度に工場新設しました

■ 廃棄物発生量と埋立量、再資源化率

新城工場



新城南工場



■ 大気関連データ(主要施設)

新城工場

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城工場 1号ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0	0	0.02未満	0.01未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	150	100	64.5	65	64
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.1	0	0.001未満	0.001未満
新城工場 2号ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0	0	0.02未満	0.01未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	150	100	61	64	58
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0.1	0	0.001未満	0.001未満
新城工場 コーゼレーション (2007年1月導入)	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	-	0	0.3未満	0.3未満	0.2未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	100	80	60.8	91	39
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.05	0.05	0.003未満	0.004未満	0.002未満
新城工場 温水ボイラーA	窒素酸化物濃度(ppm)	150	50	31	37	25
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0	0.003未満	0.003未満	0.002未満
新城工場 温水ボイラーB	窒素酸化物濃度(ppm)	150	50	29.5	36	23
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.1	0	0.003未満	0.003未満	0.003未満
新城工場 ディッピングマシン	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	0.0034	0.003未満	0.003未満	0.003未満
	窒素酸化物濃度(ppm)	250	150	12.7	22	10未満
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.15	0.1	0.01	0.024	0.002

※第三条の規定…大気汚染防止法施行規則第三条の規定に基づく(規制値はその都度変更になる)
 ※大気汚染防止法、愛知県条例に準拠(ディッピングマシンは新城市公害防止協定にも準拠)。
 2008年度も規定違反なし
 ※自主設定した管理値を外れた場合は、その原因を明確化し速やかに通常域に戻す対策を講じます

新城南工場

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城南工場 1号高圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.02	0.02	0.02
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	81.5	93	70
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.003	0.004	0.001
新城南工場 2号高圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.02	0.02	0.02
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	93	110	76
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.002	0.004	0.001未満
新城南工場 3号高圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.05	0.05	0.05
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	82	89	75
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0	0.001未満	0.001未満
新城南工場 4号高圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.045	0.05	0.04
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	88	94	82
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.001	0.002	0.001未満
新城南工場 5号高圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.045	0.05	0.04
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	82.5	90	75
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.001	0.001	0.001未満
新城南工場 6号高圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.07	0.09	0.05
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	91	98	84
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0	0.001未満	0.001未満
新城南工場 1号低圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.02	0.02	0.01
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	79	80	78
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.005	0.007	0.003
新城南工場 2号低圧 ボイラー	硫黄酸化物排出量(m ³ N/h)	第三条の規定	1.0	0.015	0.02	0.01
	窒素酸化物濃度(ppm)	180	150	74.5	83	66
	ばいじん濃度(g/m ³ N)	0.25	0.1	0.005	0.005	0.005

※第三条の規定…大気汚染防止法施行規則第三条の規定に基づく(規制値はその都度変更になる)
 ※大気汚染防止法、新城市公害防止協定に準拠、2008年度も規定違反なし

■ 水質関連データ(主要排水)

新城工場

排水口	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城工場 No.1排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.5	7.7	7.2
	BOD濃度(mg/l)	20	14.0以下	2.2	4.2	0.7
	COD濃度(mg/l)	20	14.0以下	2.8	4.1	1.7
	SS濃度(mg/l)	20	14.0以下	1.9	11.0	1.0未満
	油分濃度(mg/l)	10	5.0以下	0.5	0.6	0.5未満
	新城工場 No.2排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.6	7.8
BOD濃度(mg/l)		20	14.0以下	2.0	4.4	0.5
COD濃度(mg/l)		20	14.0以下	2.9	9.8	1.7
SS濃度(mg/l)		20	14.0以下	1.7	11.0	1.0未満
油分濃度(mg/l)		10	5.0以下	0.5未満	0.5	0.5未満

※愛知県条例、公害防止協定に準拠、2008年度も規定違反なし

新城南工場

排水口	項目	規制値	自主管理値	2008年度実績		
				平均値	最大値	最小値
新城南工場 No.1排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.6	7.8	7.4
	BOD濃度(mg/l)	20	14.0以下	7.0	10.0	3.7
	COD濃度(mg/l)	20	14.0以下	6.0	7.3	4.3
	SS濃度(mg/l)	20	14.0以下	1.9	4.0	1.0
	油分濃度(mg/l)	10	5.0以下	0.5未満	0.5	0.5未満
	新城南工場 No.2排水	PH	5.8~8.6	6.5~8.0	7.6	7.9
BOD濃度(mg/l)		20	14.0以下	5.8	12.0	2.8
COD濃度(mg/l)		20	14.0以下	5.3	6.4	3.7
SS濃度(mg/l)		20	14.0以下	3.1	5.0	1.0
油分濃度(mg/l)		10	5.0以下	0.5未満	0.5	0.5未満

※愛知県条例、公害防止協定に準拠、2008年度も規定違反なし